

平成 24 年度

国 語 (マークセンス) 試 験 問 題

(人文・社会科学専攻)

(注 意)

1. 解答用紙の注意事項を確認のうえ、例にならって氏名及び受験番号を解答用紙に必ず記入及びマークすること。

(女子受験者について、番号のWはマークしなくてよい。)

例 【氏名】 防大 渚 【受験番号】 神奈川県W1234 の場合

※氏名及び受験番号の記入について

	姓	名
フリガナ	ボウダイ	ナギサ
漢 字	防大	渚

	受験地本名	専攻区分	番 号
受験番号	神奈川県	人	W1234

※受験番号等のマークについて

受 験 地 本 名	札幌	01	福島	10
	函館	02	茨城	11
	旭川	03	栃木	12
	帯広	04	群馬	13
	青森	05	埼玉	14
	岩手	06	千葉	15
	宮城	07	東京	16
	秋田	08	神奈川	18
	山形	09	新潟	18

専攻区分	
人 社	<input checked="" type="radio"/>
理 工	<input type="radio"/> 2
性 別	
男	<input type="radio"/> 1
女	<input checked="" type="radio"/>

番 号			
0	0	0	0
<input checked="" type="radio"/>	1	1	1
2	<input checked="" type="radio"/>	2	2
3	3	<input checked="" type="radio"/>	3
4	4	4	<input checked="" type="radio"/>
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9

2. 試験時間中は、すべて試験係官の指示に従うこと。
3. 解答方法は、択一式であり、設問ごとの指示に従い、解答用紙の解答欄にマークすること。
 例えば、**1**と表示のある問題に対して(3)と解答する場合は、次の例のように**1**の解答欄の**3**にマークすること。

解 答 マ ー ク 欄						
例	1	1	2	<input checked="" type="radio"/>	4	5

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

掲載することができませんので、ご了承承願いたします。著作権上の問題から

掲載することができませんので、ご了承承願いたします。著作権上の問題から

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

(平川祐弘氏の『西欧の衝撃と日本』による)

* (注) 娼妓——遊女、公娼。

紀元二千六百年の祝典——西暦とは異なる日本の神話的年代観(皇紀)に基づいて開催された政治的な記念イベント。

万世一系——天皇家が代々純粹な単一の系譜の下に継続しているとの考え方を示すスローガン。

万邦無比——どこにも比べるものがないということ。

「日支事変」——一九三七年に日本と中国との間に起こった戦争状態。後に日中戦争へと拡大した。

大東亜戦争——太平洋戦争を指す戦時下の呼称。

ロシア——「ロシア」と同じ。

スターリン——旧ソ連の政治家。ソ連を大國にした一方、独裁者として知られ、反対派の粛正を行った。

蛮カラ——粗野で豪快な男性的態度や外見を尊ぶ気風のこと。

肥桶——肥料としての糞尿を運ぶ桶。

農本主義——農業こそが国家の存在基盤であるとする主義。

スラヴ主義——十九世紀以降、スラヴ民族の連帯とその統一を目指して行われた運動。

ツルゲーネフ——ロシアの作家。代表作に「猟人日記」「父と子」がある。

マス・ヒステリー——大衆が狂信的な精神状態に陥ったさま。

白閥打破——白人を中心とした社会支配体制の打破を目指すこと。

山県有朋——政治家、軍人。

徳富蘇峰——明治から昭和戦前期に活躍したジャーナリスト、歴史家、評論家。

征韓論——明治初期に西郷隆盛、板垣退助、江藤新平等によってなされた、武力で朝鮮を開

国させようとする主張。

1

傍線部(1)～(5)までの漢字の読みとして、本文の論旨に照らして、誤っているものは次のどれか。

- (1) 踏襲——トウシュウ
- (2) 破綻——ハジョウ
- (3) 便宜——ベンギ
- (4) 悪弊——アクヘイ
- (5) 寡頭——カトウ

2

文中の空欄 A には、「自分の力量もわきまえず尊大に振る舞う」という意味の四字熟語が入る。その語として、本文の論旨に照らして、最も適当なものは次のどれか。

- (1) 阿諛追従
- (2) 不羈奔放
- (3) 牽強付会
- (4) 夜郎自大
- (5) 闊達自在

3

本文中に用いられている「愛国的自負心」の説明として、本文の論旨に照らして、最も適当なものは次のどれか。

- (1) 愛国的自負心とは、近代的な人間存在に生来的に備わっている普遍的な感情である。
- (2) 愛国的自負心とは、高度に近代化した文明国家や社会に特有の文化的な特性である。
- (3) 愛国的自負心とは、焦燥感を基盤として発生した集団的感情の心理的な発現である。
- (4) 愛国的自負心とは、個人の劣等感や感情を超えた所に生まれる巨視的な認識である。
- (5) 愛国的自負心とは、自国に対する集団的な危機意識に基づいた政治的な志向である。

4

二重傍線部「奇妙な立場」の説明として、本文の論旨に照らして、最も不適当なものは次のどれか。

- (1) 近代国家としての日本の独立と発展の必要性を自覚してはいるが、西洋技術文明の圧倒的優位に直面し、西洋文明を心理的に軽蔑できないという立場。
- (2) 近代化の過程で、日本がそれを手本として自らを作り上げたところの西洋文明に対し、全否定も全肯定もできないという心理的な葛藤に直面した立場。
- (3) 十九世紀半ばの国際関係への理性的認識を持ちつつも、国民感情としてのナショナリズムに押し流されて開国と西洋化に邁進してしまったという立場。
- (4) 非西洋国家として西洋列強と対峙し、その脅威の中で国家の自立を目指しつつも、自らを西洋化する以外の新たな方法を見出し得なかったという立場。
- (5) 国民の意識においては西洋とは異なる日本への矜持を保つ一方で、技術や制度のレベルでは西洋文明への依存を拭い去れないという矛盾を孕んだ立場。

本文の論旨に照らして、最も適当なものは次のどれか。

- (1) 日本を非論理的に賞賛する自己高揚の心理は、昭和戦前期の日本に存在していた対外的孤立感を超克した結果生み出されたものであって、そこには一種のマス・ヒステリーとしての混沌とした集団心理が深く介在していた。
- (2) ロシヤの場合、強い劣等感が自己を過大に誇示するという志向を生み、ソ連邦としての宇宙開発の成功によってそれが更に促進されることになったが、その自己主張の根本には、農本主義に基づく反文明主義的観点がある。
- (3) 他国への劣等感ゆえに、まとまりのない愛国心に基づいた自尊心が喚起されるという国民意識のかたちは、近代の中国に留まらず、明治維新によって初めて西洋文明に触れた日本においても同じように見出すことができる。
- (4) 極端な排外主義に陥ることなく、尊皇攘夷の理念を具現化した近代国家日本の建設過程においては、その担い手である勝海舟や伊藤博文などの活動家が海外で異文化を体験したことが重要な意義を持っていたと考えられる。
- (5) ナショナリズムとは、自分が所属する国への自尊心を基盤とした国民の心性から生み出されるものであるが、その発現の形態は、対外関係における外圧の増大により生まれる集団的心理の動きによって大きく影響を受ける。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

（柏木博氏の『モダンデザイン批判』による）

*（注） フランクリン・ローズヴェルト——アメリカの第三十二代大統領。世界恐慌と第二次大戦期にアメリカ政治の中心を担った。

レイモンド・ウィリアムズ——イギリスの批評家。第二次大戦後、文化と社会の関係を多く論じた。

スチュアート・ユーン——アメリカの社会・メディア学者。

ウィリアム・ペティ——十七世紀に活躍したイギリスの経済学者。

アダム・スミス——十八世紀に活躍したイギリスの経済学者。「経済学の父」と呼ばれる。

代表的著作に『国富論』がある。

デヴィッド・リカード——イギリスの経済学者。十九世紀初頭、労働価値説の立場から経済

学を体系化する主張を行った。

カール・マルクス——ドイツ出身の経済学者で、二十世紀の共産主義運動の理論的指導者。

著書『資本論』は世界的影響を与えた。

新古典派——近代経済学の一派。

ソシュール——スイスの言語学者。「近代言語学の父」と呼ばれ、二十世紀の思想家に多大

な影響を与えた。

6

傍線部の片仮名(1)～(5)にあてはまる漢字として、本文の論旨に照らし、誤っているものは次のどれか。

- (1) 略奪
- (2) 枯渴
- (3) 素朴
- (4) 余乗
- (5) 援用

7

本文中の空欄 B に入る一節として、本文の論旨に照らし、最も適当なものは次のどれか。

- (1) 人々の生活様式や環境を理念的に構成する
- (2) 人々の経済状態や格差を事後的に創出する
- (3) 人々の消費意欲や選択を趣向的に喚起する
- (4) 人々の労働環境や技法を抽象的に提示する
- (5) 人々の人間関係や歴史を文化的に分析する

8

本文中の空欄 C D に入る語句の組み合わせとして、本文の論旨に照らし、最も適当なものは次のどれか。

- (1) C 欲望 D 機能
- (2) C 感覚 D 差異
- (3) C 意志 D 相対
- (4) C 主観 D 絶対
- (5) C 認識 D 抽象

〈商品〉に関する本文中の説明として、本文の論旨に照らして、最も不適当なものとは次のどれか。

- (1) 商品とは、消費者の欲望を喚起すると共に、現実的な使用価値を備えた機能体である。
- (2) 商品とは、消費社会の実態をその存在形態において具現化している象徴的物体である。
- (3) 商品とは、その交換により労働を分業化するという面を持つ、社会の構成要素である。
- (4) 商品とは、交換価値を自らの機能により絶えず生み出している、抽象的な記号である。
- (5) 商品とは、資本主義社会の構造に則り、自らの交換価値を高めているデザインである。

本文の論旨に照らして、最も適当なものは次のどれか。

- (1) カール・マルクスは、労働の社会性という観点から労働とその価値を切り離す一方で、商品価値を労働量において計量するというシステム論的経済観を初めて提唱し、労働価値説の更なる体系化と深化に寄与した。
- (2) 関係性のシステムの中に資本主義社会の実体を見出したソシュールの観点から見れば、電子情報によって高度にネットワーク化された現代の市場における、現実の労働と貨幣の価値との乖離は必然的な事態である。
- (3) 金本位制から変動相場への移行以後、貨幣はアメリカ中心の国際経済の中で相対的に成立するものとなったが、ここでは商品システムの中で価値付ける非実体的記号としての貨幣の本質が顕在化することになる。
- (4) 限界効用説は、消費者の主観性ではなく商品自体の使用価値を重視した点で画期的であり、ここでは価値というものを消費者の曖昧な欲望の中で見出される心理的な要素として把握するという視点が生み出された。
- (5) アメリカ的消費社会がグローバルな規模で人間の意識に浸透し、モダンデザインとして大衆の消費行動を規範化した結果、近代経済学が歴史的に重要視してきた労働価値説は、その実践的な有効性を喪失しつつある。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

(上島鬼貫の『ひとりごと』による)

* (注) 付れば——(連歌・俳諧で) 前の句にうまく関連させて、句を作り添えれば。

俳諧——俳諧連歌の略。室町末期、滑稽卑俗な内容を詠んだ連歌として始発、江戸時代、松尾芭蕉によって芸術性を得る。

所詮——文藝の本質。

物こもりて——芽吹き直前の様子。

11

空欄

A

B

に入る言葉の組み合わせとして、本文の論旨に照

らして、最も適当なものは次のどれか。

- (1) A 三月 B 六月
 (2) A 十二月 B 五月
 (3) A 十一月 B 三月
 (4) A 二月 B 七月
 (5) A 四月 B 二月

12

傍線部(1)の現代語訳として、本文の論旨に照らして、最も適当なものは次のどれか。

- (1) 言葉のうえで恋の内容を高度に詠んでいますので、かえってうそになってしまいましょか。
 (2) 言葉のうえで恋の内容を高度に詠みますならば、かえってうそになってしまいましょか。
 (3) 言葉のうえで恋の内容を希薄に詠んでいますので、かえって心得ちがいなことになってしまいましょか。
 (4) 言葉のうえで恋の内容を希薄に詠みますならば、かえって心得ちがないことになってしまいましょか。
 (5) 言葉のうえで恋の内容を深く詠みますならば、かえってうそになってしまいましょか。

13

傍線部(2)「詮」と同じ意味で使われている本文中の言葉は次のどれか。

- (1) 付句
 (2) 時節
 (3) 本情
 (4) 専一
 (5) 修行

14

傍線部(3)の内容に明らかに合致しない説明文は次のどれか。

- (1) 春の月は、薄絹でもかかったようで、光が柔らかい。冬の月は見るからに寒そうな感じがし、雲間を走るその光には凄さがある。
 (2) 夏の夜の月は、夜が短いためにはかない感じもしてあわれで感慨深い。秋の月は、隈なく月光が行き渡り、周囲の風景が更にその月の風情をひきたてる。
 (3) 春の月は、暮れ始めるとすぐ、朦朧とかすんでいるように見える。秋の月は四季の中で一番さやけく清いため、その光は最も周囲のものに及ぶ。
 (4) 夏の月は秋の月に比べ澄んでおらず、夕方近くは暑さが去らない感じがある。冬の月は、光が鋭く寒々と冴えるが、真上を高く渡るので小さく見える。
 (5) 秋の月は四季の中で一番さやけく清いため、隈なく月光が行き渡る。冬の月は凍てつくような空にかかって、雲間を走るその光には凄さがある。

15

空欄

C

に入る最も適当な語は次のどれか。

- (5) (4) (3) (2) (1)
夕 梅 時 氷 驟
立 雨 雨 雨 雨

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

〔春秋左氏伝〕宣公十一年による

*〔注〕少西氏——夏微舒のこと。この祖先の子夏の名による。

栗門——陳の都の城門の名。

県公——県の長官。

蹊——道のないところに道をつくること。踏み荒らすこと。

吾が儕——吾輩と同じ。われわれ。

16 空欄に補う語として最も適当なものは次のどれか。

- (1) 將 (2) 正 (3) 当 (4) 方 (5) 合

17 傍線部(1)の意味として、本文の論旨に照らして、最も適当なものは次のどれか。

- (1) 訴える (2) 言い訳をする (3) 拒絶する
(4) 告げる (5) 退ける

18 傍線部(2)の表現に込められた意味として、本文の論旨に照らして、最も適当なものは次のどれか。

- (1) 楚子が少西氏を殺したこと
(2) 夏微舒がその君を殺したこと
(3) 諸侯が楚王を慶祝したこと
(4) 楚が陳を自国の県にしたこと
(5) 申叔時が楚王を諫めたこと

19 二重傍線部の書き下し文として、本文の論旨に照らして、最も適当なものは次のどれか。

- (1) 乃ち不可なること無きかな
(2) 乃、不可なるを無みせんか
(3) 乃ち不可なること無からんや
(4) 乃、不可なること無きか
(5) 乃ち不可なるを無みするか

本文中における申叔時の生き方に対する解釈として最も適当なものは次のどれか。

- (1) 申叔時は楚王が夏氏の乱の鎮圧に成功したことを知らなかったため、楚王に祝言を奏上しなかったが、楚王が不快感を示したため、敢えて自分の立場の弁明に務めた。
- (2) 申叔時は楚王が夏氏の乱の鎮圧に成功したことを知っていたが、敢えて楚王に祝言を奏上せず、楚王が不満を吐露することを想定し、それを契機にして諫言を試みた。
- (3) 申叔時は楚王が夏氏の乱の鎮圧に成功したことなど全く関心がなく、楚王に祝言を奏上することもなかったが、おもねる臣下を見て、止むなく彼の政治理念を開陳した。
- (4) 申叔時は楚王が夏氏の乱の鎮圧に成功したことを聞いてはいたが、元来、出兵には反対だったので、祝言は奏上せず、後に楚王のために助言を惜しまなかった。
- (5) 申叔時は楚王が夏氏の乱の鎮圧に成功したことがつかめず、楚王への祝言は避けたが、楚王が立腹したので、逆に楚王の戦争に対する態度について批判するに至った。